

# 令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢3 にぎわいを創る「交流のしま」	
政策3 歴史、伝統文化を守り、活かし、伝えるまちづくり	本文P90～92

基本方針	地域の歴史と文化を大切にし、伝統、文化の保存継承に努め、郷土に対する愛着や誇りを持てる環境の整備と文化活動の支援に努めます。
------	--

3-3-① 歴史・文化の保存伝承	担当課	生涯学習課
------------------	-----	-------

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○令和6年度の取組みとして、町指定文化財「白魚千人塚(千軒跡)」への来訪者の誘導をスムーズにするための誘導板の設置を行った。また各学校へのふるさと学習や町民を対象とした歴史教室を開催し、郷土に対する愛着や誇りを持てる人材の育成に努めている。</p> <p>【R2～R5取組み実績】</p> <p>R5:「御船様」フェンス改修工事                  R4:「頭ヶ島天主堂」火災報知器改修工事                  R3:「奈良尾のアコウ」保存活用事業(支障枝剪定、説明板改修)                  R2:「奈良尾のアコウ」支柱改修工事、「白魚千軒跡」フェンス設置工事</p>	
SDGsとの関係性	 	【選定理由】 次世代を担う人材を平等に育成し、継承できる体制を構築する。
評価(問題点とその要因)	○人口減少が加速しているなかで指定文化財の保存・伝承する体制を構築しているが、保存団体の少子高齢化による会員の減少、それに伴う調査・研究の停滞、人材不足により文化財を維持管理することが難しくなっている。	
今後の取組方針	○文化財を通して郷土に対する愛着や誇りを持てる人材育成に取組み、今後の体制の構築につなげていく。また、新規で文化財指定をする際には、文化財の価値だけでなく管理体制を十分に確保できるのかも踏まえながら検討し取組んでいく。	

## 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1 ★ まち	学校での歴史教室等の開催(年間)		件	8	10 8	12 12	14 28	16 18	18 14	77.8%	
	《成果指標の進捗状況》					担当課	生涯学習課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	次世代を担う小・中・高校生がふるさと学習を通して将来的に後継者として地域を担っていく基礎作りや郷土の誇りを持つことが出来ている。町内7割以上の学校が総合学習の時間などでふるさと学習を取り入れており、自分たちが住んでいるまちの歴史を学ぶいい機会になっている。										A
	【R2～R6取組み実績】 町内小中高校 R6:14件(延べ303人)、R5:18件(延べ334人)、R4:28件(延べ394人)、R3:12件(延べ451人)、R2:8件(延べ329人)										R4
	・残された課題、KPI達成のため必要な取組み										A
	①課題										R5
	町内小中高校へのふるさと学習の周知、及び利用しやすいふるさと学習のメニューの設定が課題としてあげられる。										A
	②必要な取組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載										R6
町内小中高校がふるさと学習を利用しやすくするため、学校のニーズの把握に努めるとともにそのニーズを反映したメニューづくりに取り組んでいく。										C	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○子どもたちに「生の芸術」に触れる機会を提供するため、五つ星子ども劇場の公演、劇団四季の公演、東京演劇集団風の公演、新上五島町寄席、ブラッシュアップ事業、など文化委託事業を実施している。R7年度には国民文化祭を控え、文化団体は出演に向け準備をしている。</p>	
SDGsとの関係性	 	<p><b>【選定理由】</b>                  全ての人に包括的かつ公平で質の高い教育(芸術)を提供する。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○「生の芸術」に触れる機会を創出しているが、町のスタッフが必要な場合には担当課だけでは負担が大きくなるため、ボランティアなどを募るなど工夫が必要。</p>	
今後の取組方針	<p>○固定事業に加え、R7年度の国民文化祭で展開するプログラムメニューについて、確実に実施できるよう関係機関の協力を得ながら進めていく。</p>	

### 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1 まち	子ども・青少年劇場・寄席・コンサート等芸術機会の提供	提供回数	回	4	4	4	4	4	4	100.0%	
					1	2	6	6	7		
	《成果指標の進捗状況》					担当課	生涯学習課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										C
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	子ども・児童生徒・保護者、町民一般にわたり「生の芸術」に触れる機会を提供することを目標として、五つ星子ども劇場、新上五島町寄席、劇団四季公演、東京演劇集団風公演を実施できた。										C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	<u>①課題</u>										A
	来場者を増やすための広報										R5
	<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										A
現在の子ども・児童生徒・保護者、町民一般のニーズと提供する芸術メニューをマッチングさせることが大事である。										R6	
										A	

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○「頭ヶ島の集落」の価値や魅力を情報発信するために里道周遊マップを作成し、個人の来訪者やふるさと学習で活用を図っている。また、関係人口を増やすためのイベントやボランティア清掃活動などを通して関係人口の増加に努めた。文化的景観においては、江袋交流館や島のふれあい館を拠点に、来訪者に島の文化・歴史・生業など魅力発信に努めた。日本遺産においては、民間団体と連携して日本遺産シンポジウムを開催することで価値や魅力の情報発信に努めた。</p> <p>【R2～R6取組み実績】</p> <p>R6: 頭ヶ島の集落グリーン大作戦(参加者:50名)、日本遺産シンポジウム(参加者:300名)</p> <p>R5: 世界遺産登録5周年記念グリーンウォーク(参加者47名)、講演会&amp;コンサート(参加者:50名)</p> <p>R4: 白浜地区多目的広場修景工事</p> <p>R3: 頭ヶ島の集落里道整備(2路線)、「頭ヶ島の集落里みち(マップ)」製作(2022年度日本イコモス賞受賞)、江袋交流館開館</p> <p>R2: 頭ヶ島の集落里道整備(2路線)</p>	
SDGsとの関係性	 	<p>【選定理由】</p> <p>世界遺産や日本遺産などの地域資源を整備・活用し、関係人口拡大を図り、地域活性化やふるさと学習により学び伝えることで郷土愛を育む。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>少子高齢化により文化財や景観を保全管理する人が減少し、耕作放棄地や空き家が増え文化財や景観の維持が困難になってきている。</p>	
今後の取組方針	<p>各文化財の価値や魅力を広く情報発信するために、各種イベントの開催やボランティア活動を通して、人に関わってもらう機会を設け、今後の関係人口の拡大を図っていく。また重要文化的景観地域の保存活用計画の見直しを図ると共に、地域の方々やアドバイザー等の意見を聞きながらその集落の資源を有効活用するなど活性化に向けて取組む。</p>	

### 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	文化遺産の整備・活用の推進	総数で5件	件	1	1	1	1	1	1	100.0%
	《成果指標の進捗状況》				担当課	生涯学習課				R2
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									A
1 まち・横断	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
	町内民間団体に呼びかけボランティアによる「頭ヶ島の集落グリーン大作戦」を実施し、島内の環境保全を図るとともに、島へ関わる機会となった。									A
	【R2～R6取組み実績】(再掲)									R4
	R6: 頭ヶ島の集落グリーン大作戦(参加者:50名)、日本遺産シンポジウム(参加者:300名)									A
	R5: 世界遺産登録5周年記念グリーンウォーク(参加者:47名)、講演会&コンサート(参加者:50名)									R5
	R4: 白浜地区多目的広場修景工事									A
R3: 頭ヶ島の集落里道整備(2路線)、「頭ヶ島の集落里みち(マップ)」製作(2022年度日本イコモス賞受賞)、江袋交流館開館									R6	
R2: 頭ヶ島の集落里道整備(2路線)									A	
・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R6
①課題										A
文化財の保存整備は行政で行えるものの、維持・管理・活用に携わる人材が高齢化しているため文化財の維持・管理に影響が出ている。										A
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										R6
文化財の価値や魅力の情報発信により関係人口の増加に努めることにより、文化財の保全管理を担う人材の確保に向けて取り組んでいく。										A

### 2次評価委員会からの評価・意見等

ふるさと教育や歴史教室を通じて子どもから大人まで歴史や文化財への理解を深め郷土に対する愛着や誇りを持つよう取り組むことは大切です。加えて子ども達が「生の芸術」に触れる機会を提供し、文化芸術関係団体等に積極的な活動の支援を行うことで文化財の保護活用を図っていく必要がある。文化財の保護、伝統行事の継承に向けて人材育成と官民一体となった保存活動の継続が必要である。